

ハイキング部だより

第228回

令和5年(2023年)3月5日(日)～清荒神から売布神社を経て中山寺へ

コース:清荒神駅～清荒神～売布神社～中山寺～梅林～
中山観音駅(約6キロ)

参加者 20名

10時阪急宝塚線「清荒神駅」スタート、かつては賑わった商店街もシャッターが目立つなか約30分歩いて清荒神へ、清荒神は神仏習合で「かまどの神」として信仰され「荒神さん」と呼ばれ親しまれてきました。参拝のあと売布神社へ、売布神社は衣食住の守護神「下照姫神」が里人が飢えと寒さに困っているのを見て稲を植え、麻を紡ぎ布を織ることを教え、その後豊かになった里人が下照姫神を祀ったという伝説があります。

そして中山寺へ、中山寺は聖徳太子の創建と伝えられ、わが国最初の観音霊場で安産祈願の寺としても知られています。参拝のあと山に向かって少し上がったところの広場で昼食、昼食後梅林へ、約1000本の梅が植えられており満開の梅もありましたが多くは5分咲きといったところ、「梅まつりの日」とあって多くの人が訪れていました。写真を撮って2時過ぎに解散しました。



中山観音公園の梅林をバックに

第228回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 清荒神から売布神社を経て中山寺へ ～

日 時:令和5年3月5日(日) 10時 阪急宝塚線「清荒神駅」集

コース:清荒神駅～清荒神～売布神社～中山寺～梅林～
中山観音駅(約6キロ)

清荒神は真言三宝宗の総本山、境内には三宝荒神社もあり神仏習合で「清荒神清澄寺」と呼ばれています。また「荒神さん」と親しまれ、かまどの神としてお札を台所の神棚に祀るなどの信仰があります。

売布神社(めふじんじゃ)は、推古天皇18年(610年)の創建と伝えられています。衣食住の守護神下照姫神が当地の里人が飢えと寒さで困窮しているのを見て稲を植え麻を紡ぎ布を織ることを教え、その後豊かになった里人が下照姫神を祀ったという伝説が残っています。

中山寺は、聖徳太子の創建によると伝えられわが国最初の観音霊場です。安産祈願の霊場として武家、庶民に古くから親しまれ、豊臣秀吉は当山に祈願して秀頼を授かったとされています。西国三十三ヶ寺としても知られ、また隣接する中山観音公園には約1000本もの梅の木が植えられており梅の名所としても有名で春には大勢の人が訪れます。



中山観音公園の梅林